

第13回離島甲子園佐渡大会開催

学校教育目標

- 自ら学び、考え、実践する生徒（知）
- 心豊かで、自他を尊び、思いやりのある生（徳）
- 健康で、根気強く、たくましい生徒（体）

船浦中学校共通実践！一人一人が意識しよう。

礼儀
積極的にかかわる力

挨拶・返事・後始末

元気の挨拶は相手を
思いやる優しさ物事をやり抜く力
責任感

将来に必要な力を船中で身に付けよう！！

8月21日～27日の日程で本校野球部1～3年生12名が波照間督起監督率いる西表ヤマネコ・ティダボーイズ（大原中と合同チーム）として3年ぶりに新潟県佐渡市で行われる第13回離島甲子園に参加することができました。大会の様子は以下のURLより配信!!ご覧下さい。

1回戦 奄美市選抜 VS 西表 7-1 敗退

<http://www.rito-koshien.net>

前泊正人町長からの出発前の激励
竹富町前泊町長と佐事教育長も大会に同行

陸上練習



ダンス節

3年女子の熱意が素晴らしい
めっちゃくちゃ頑張ってます!!
講師の千枝さんに感謝



きつい練習に歯を食いしばって、
切磋琢磨!! 頑張る船中生の姿に
すでに感動...本番が楽しみです。

教育文化助成金

8月17日教育研究費の授与式のため、沖縄県教職員弘済会より理事の石垣幸子先生が来校しました。教育活動の助成金申請をしたところ認可されたものです。有効に活用させていただきます。

お知らせ

学校だより「沃野 16号」でお知らせした大会結果をご報告します。

- * 九州陸上競技大会 3年当山陽向さん（走り幅跳び）自己ベスト更新ならず 4m73cm 14位
- * 科学の甲子園ジュニア八重山地区大会 代表ならず チームA 糧良・和真・舟さん 15校中5位

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
21	22	23	24	25	26	27
2022 8月			ノ一部活デイ ダンス・節踊り練習 校内研修①	陸上練習 8:00～ 部活動 10:00～ ダンス・節踊り練習 校内研修①	2学期スタート 陸上練習 18:45 下校	* 野球部離島甲子園 より帰島 各部活動練習
～25日まで夏季休業期間						
28	29	30	31	9/1	9/2	9/3
部活、陸上練習休み	2学期始業式	ALT 来校 ICT 支援員来校	学級役員認証式 SB16:40	人権の日（朝）	地区陸上移動日	第44回地区陸上

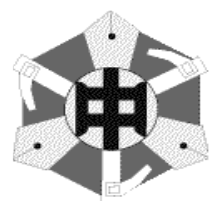
沃野

発行

8月 第17号

船浦中学校

校長 宮城裕子



7月13日の第5回スピーチ集会のスピーチ原稿です。ご一読ください。

晴天さん

「牛」

スピーチ集会

「恐竜」

琉成さん

みなさん、牛肉を食べますよね。だけどその牛肉がどんな課程で肉になっていくか知らないですよね。今日はそんな牛がどうやって肉になっていくかを紹介します。今日は、一頭のオス牛が生まれたとして、この子の一生を紹介したいと思います。まず、生まれてすぐは母牛と個室で過ごします。そして、少したったら、普通に周りの牛たちと合流します。そこで他の母牛や子牛とともに過ごしながらか成長していきます。ここで牛は、牛の役所みたいなところに登録しないといけません。その登録する時に名前と耳ばん、鼻もんなどを登録します。耳ばんは、みんなが知っていると思うのですが、牛の耳についてる黄色い番号が書かれているやつです。耳ばんはよく見るから知っていると思うのですが、鼻もんは知らない人が多いと思います。簡単に説明すると、人間の指紋のようなもので、牛一頭一頭鼻の模様がちがうので、鼻もんをとって登録をします。また、名前の表記の仕方も特徴があって、メス牛はひらがな、オス牛は漢字で書かないと行けません。例えば、私のところの牛に「あいりす」とか「ぱぶあ」といういかにもカタカナで書きそうな名前の牛がいるのですが全部ひらがなで書きます。そして、登録が終わって生後3〜4ヶ月たったら牛に最大の試験がおとずれます。それは、乳離れと去勢です。まず、乳離れは、母牛と子牛を離して、母乳を飲ませずエサを食べさせて大きくしていくものです。母牛と子牛を離すと、子牛は声が枯れるほど泣き続けるので、ちょっとかわいそうです。しかしもっとかわいそうなのは去勢です。もう想像したくないくらい地獄ですよ。去勢する意味としては、オスのままだと肉が固くなったり、肉質がよくなかったりするので、去勢してメスに近い状態にすることで肉質をよくするというものです。麻酔なんて無いと考えるとエグいですよね。こうやって、乳離れや去勢をして、個室でエサをもりもり食べ、体重を増やして生後8ヶ月〜10ヶ月くらい経つとセリに出します。そしてセリで肥育農家さんという牛を大きくする農家さんが買って、2歳半まで大きくして食肉センターで解体されて、それぞれの肉を肉の業者さんが買って、スーパーにおかれて、私達のもとに届いているわけです。このように、牛は過酷な人生を歩んだ末に、ぼくらの食べ物になってくれているのです。牛だけでなく豚や鳥も同じです。だから、肉を食べるときは、しっかりと感謝の気持ちをもって食べるようにしましょう。

皆さんは、恐竜について知っていることはありますか？男の子なら一度は図鑑を見たり調べてみたことがあるでしょう。僕も恐竜図鑑を三冊持っていて、毎日のように恐竜を眺めています。毎日恐竜図鑑を眺めてもあきないほど恐竜はとても魅力的だと思います。恐竜の魅力の一番は大きさだと思います。一番大きいもので4mにもなる恐竜がいます。それは、アルゼンチノサウルスです。この恐竜の大きさをここから測ると保健室あたりまでの大きさになります。僕は、この大きさを図鑑で見たとき、二つびっくりしました。なぜなら同じ地球上に昔、これほどの巨大生物がいたなんてとても考えられないと思ったからです。他にも、肉食獣の獲物をかるため体の一部が優れた武器になっていることにもとても魅力を感じました。例えば、カルカロドントサウルスの百六十センチの頭部や獲物を切り裂くための鋭い歯があげられます。僕の身長ほどの頭の大きさとナイフのような歯の武器を持っていることに驚きました。みなさん想像してみてください。人間にそのような武器があるとうなるのでしょうか。食うか食われるかの世界になってしまいます。とてもおそろしいとおもいませんか？今、人間が頂点にいる時代に恐竜がいれば人間はどうなってしまいますのでしょうか。この恐竜を見ると、人間はとても無力だなと思いました。このように、僕は恐竜のことを考えると、とてもウキウキします。自分の好きなものを追求することはとても良いことで、いろいろな物を好きな面で見えていくことは、とても楽しいことだなと感じています。みなさんも自分の興味を持ったり、楽しいなと感じたものを追求してみませんか？

きっと世界が広がりますよ。

陽向さん

「備えあれば憂いなし」

私のバックは今日も重い。来週テストがある教科書、ノート、ファイル、読むかもしれない本、替えのマスク10枚、着替え、各種検定の参考書、筆記用具、水筒などが常備されています。毎日、腰や肩が悲鳴をあげています。しかし、なぜ荷物の量を減らさないのか。土曜日、石垣に向かうとき、陽大に、「陽向のバックは今日も重い」と言われました。なぜ私は重たい荷物を担いでいるのか、ふと考えました。カバンが重くなったのは、中学校へ入学してからです。毎週あるテストに合格したい、頭が良い人は、家でも毎日勉強しているはずと考え、私も負けないようにすき間時間を使って勉強してやと思ったこと。提出物が多く、忘れてはいけない。という不安から、日に日にカバンが重くなっていったのです。まとめると、一、いつでも、どこでも勉強する意欲があるときに勉強したい。二、時間をもてあましたくない。三、もしもの時に備えたい。例えていうなら、ドラえもんポケットのように、あったらいいと思うものが全て出てくるカバンにしたいからです。しかし、時にあれもこれも入れすぎて、満杯になり、最重要物を忘れてしまうことがあります。カバンの詰め方にも私流のルールがあり、最重要なものは一番後方に入れるため、詰め込みすぎると、外で待機となり、急いでいるときに置き去りにしてしまうのです。反対にたくさん詰め込んで役に立ったことは特にありません。なのに、なぜ重たいカバンを持って毎日歩いているのか、それはもしもの時にどういかなるという安心感を背負っているんだと気が付きました。今週、県大会に行きます。もちろん県大会にも安心を背負って出かけます。「備えあれば憂いなし」だから私のバックは今日も重い。